インドの印刷産業の見通しと課題

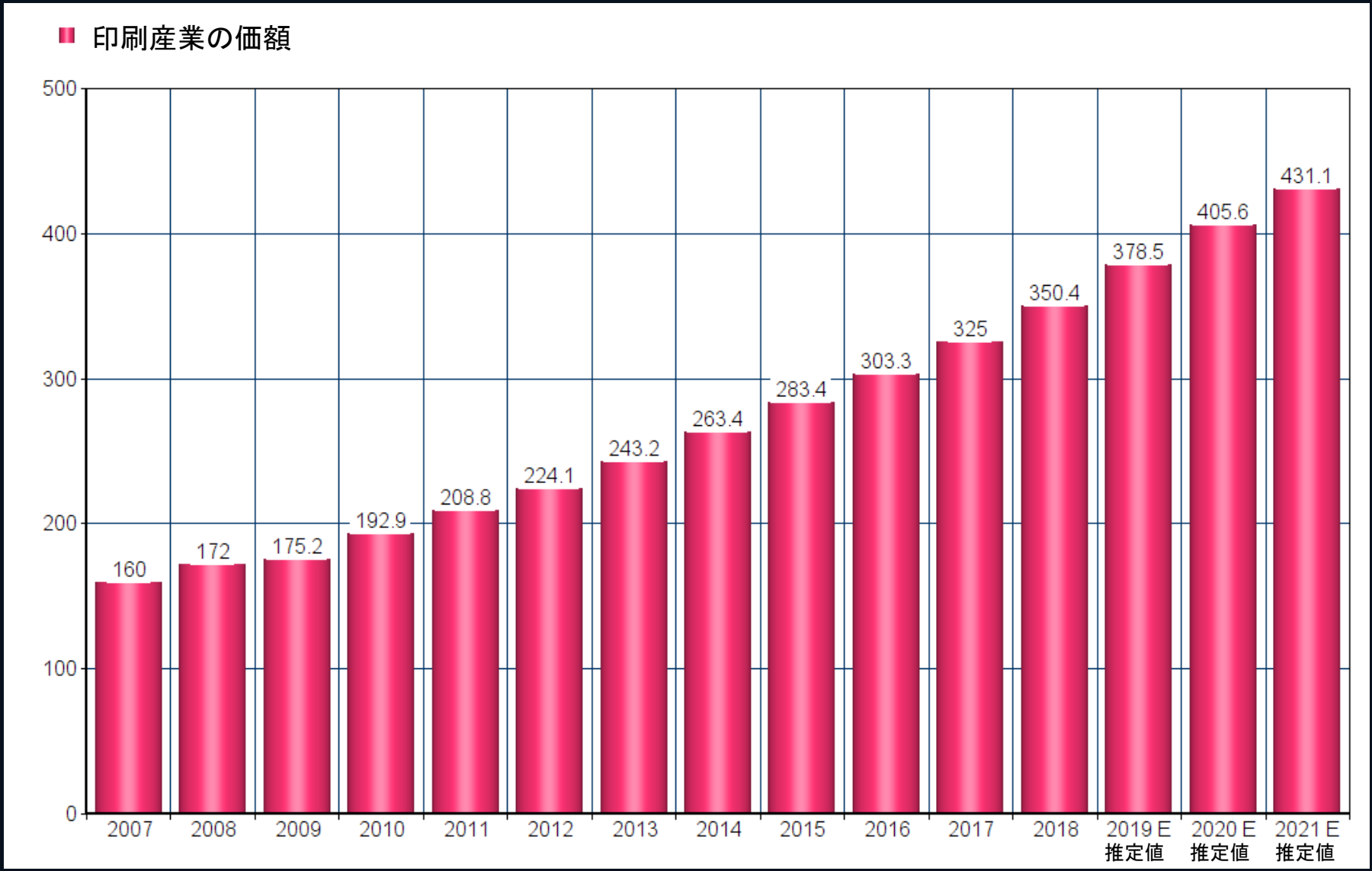
Prn. Tushar Dhote
Chairman - PAMEX

全インド印刷工業連盟
インド、ニューデリー

A I F M P

- 印刷産業はインドで最大かつ最も成長率の高い部門の一つである。
- インドの印刷産業が急成長するための人口動態的及び社会経済的な各パラメータは十分である。
- インドには3,00,000を上回る印刷機があり設備投資額は3250億ドルである。

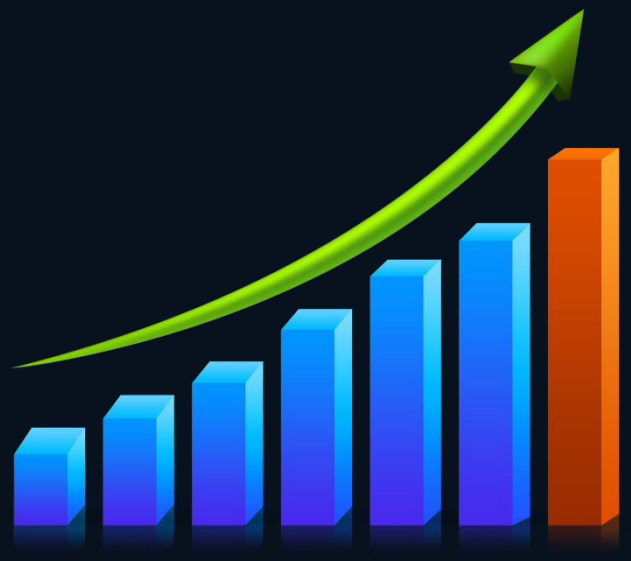
- 購買力平価（PPP）においてインドは米国、中国、日本に続いて世界第4位の経済大国である。
- アジア大陸全体で第3位のGDP。
- 印刷及びパッケージ産業でインドの成長率と予想収益の見通しは明るい。



インドの印刷産業の価額は3250億ドル前後で2021年までに4310億ドル程度まで上昇すると予測されている。

世界の動向に反して、インドの印刷産業は依然として上昇傾向にあり2015年から2020年の間に年平均成長率7.8%で成長する見通しである。

出版産業



- 新聞／雑誌部門は年平均成長率9%で成長する見通し。
- Tier 2及びTier 3の都市で急上昇の可能性。
- 50,000超の出版物で年間収益は15億ドル超。
- 識字率の向上で、インドの印刷媒体産業はさらなる成長が見込まれる。

パッケージ産業

- インドのパッケージ市場は2020年までに730億ドルに達する予定である。
- インドのパッケージ産業は世界のパッケージ産業の約4%を占める。

- パッケージ市場は2025年までに500億米ドルを超えるとみられる。
- 700を上回るパッケージ用機械メーカーのうち95%は中小企業部門に属する。
- インドのパッケージ産業は現在、世界で最も成長率が高い位置にランク付けされている。

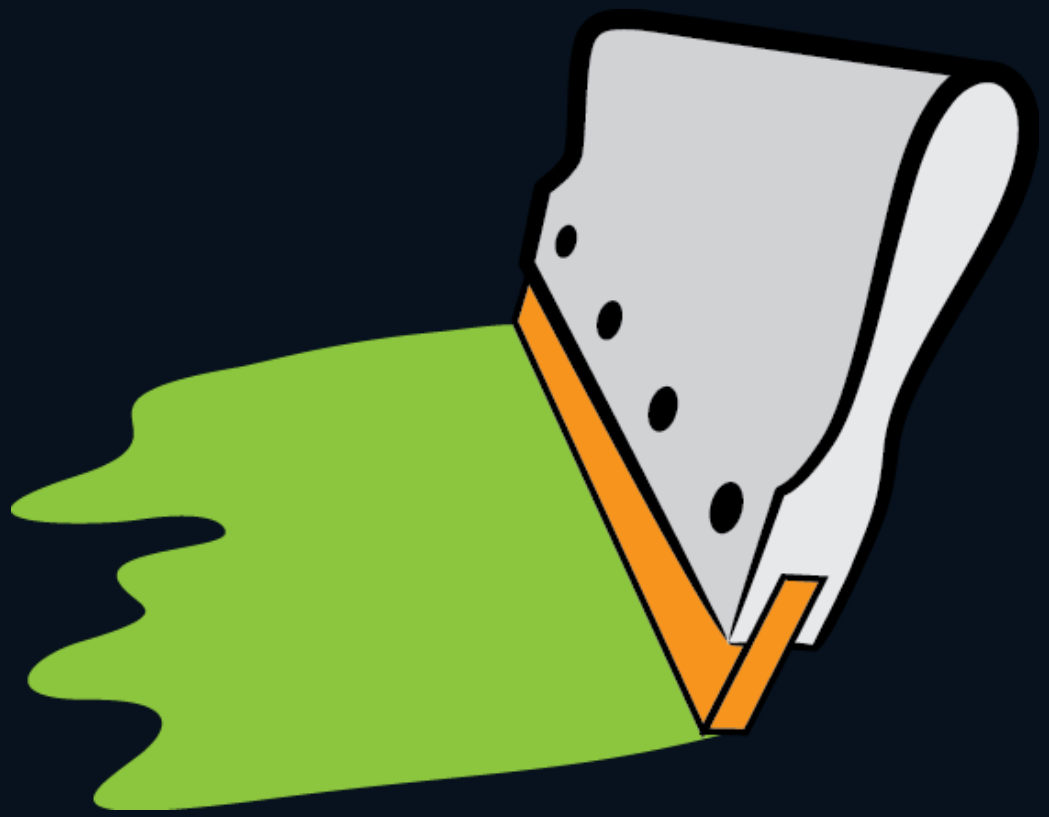
- アナリストたちはインドのフレキシブルパッケージ市場が2014年から2019年にかけて年平均成長率24.21%で成長すると予想。
- 豆類、牛乳、砂糖、果物の生産において上位3位に入るインドは加工及びパッケージ向けの原料が豊富。

- 組織的な小売業及び電子商取引の急増によりプラスチックパッケージの成長が刺激され一人当たりの消費が5年で倍増すると思われる。
- インドのパッケージ産業は年成長率18%を記録すると予測される。

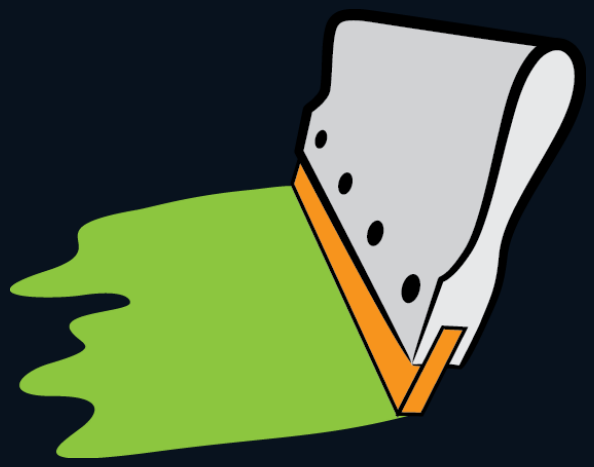
RASPBERRY
LAVENDER
WINEVILLE
GREEN TEA
Milk
PREMIUM BLEND
Coffee

ラベル産業

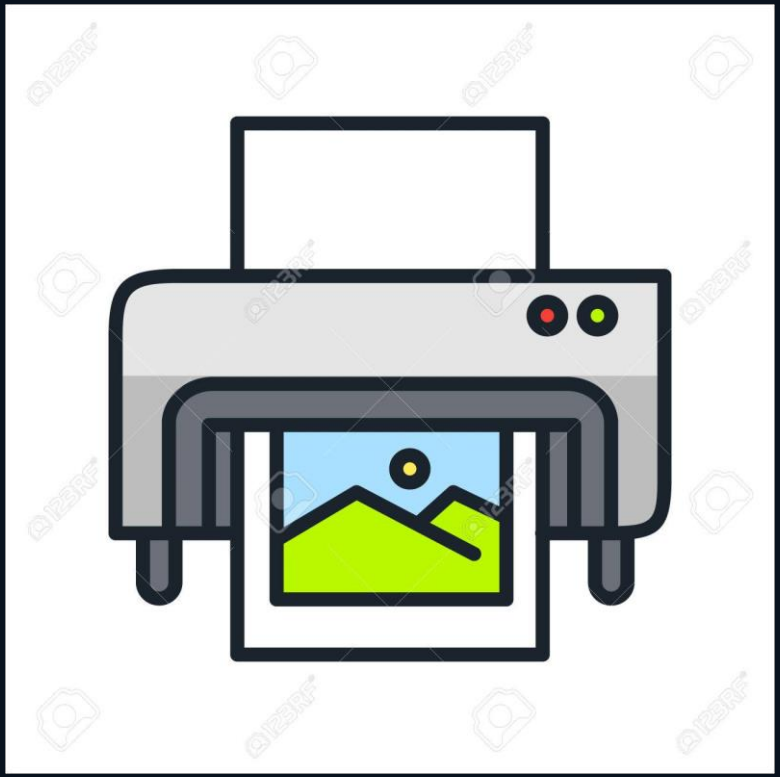
- インドのラベル産業は複雑かつ活発で、急成長している。
- インドの成長率は19%と世界で最も高い。
- バーコードラベルは、30%から35%の成長率で推移しているがRFID（無線自動識別）スマートラベルにより後退しつつある。



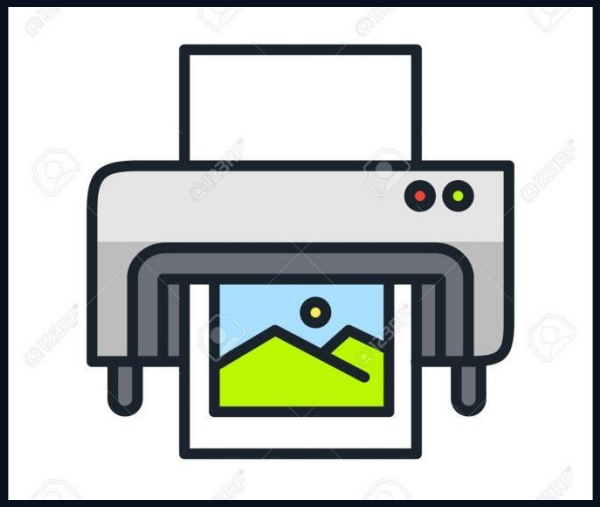
スクリーン印刷産業



- インドのスクリーン印刷産業の年成長率は15%から20%。
- インドのスクリーン印刷産業には10万のスクリーン印刷機があると言われている。
- 同産業における重点を名刺、レターヘッド、招待状の印刷から衣類、織物さらには自動車産業へと変換。



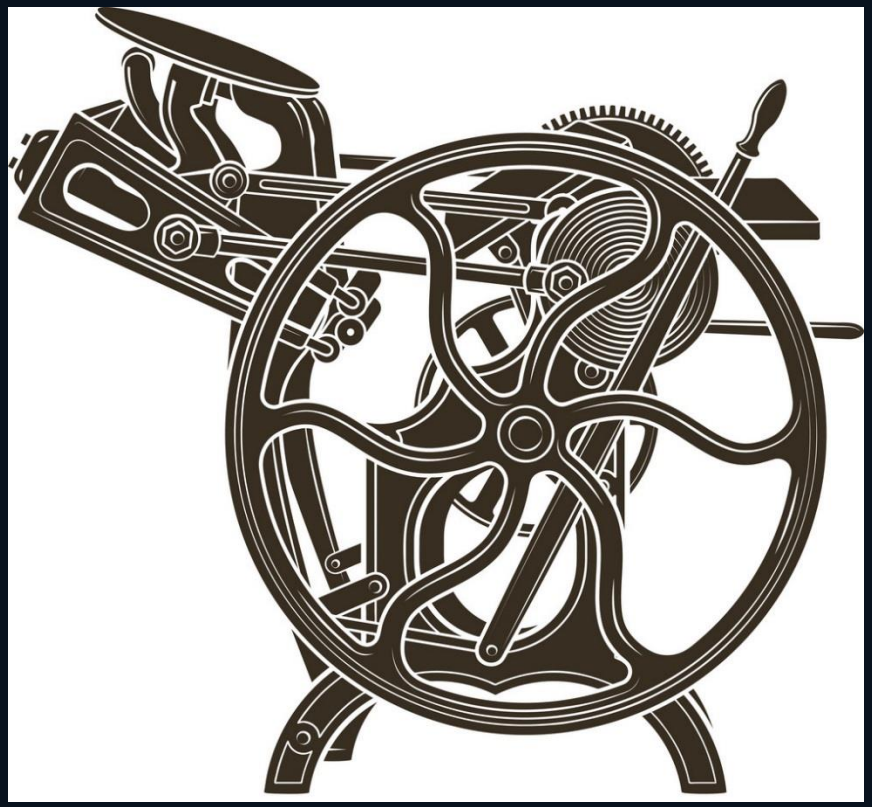
デジタル印刷産業



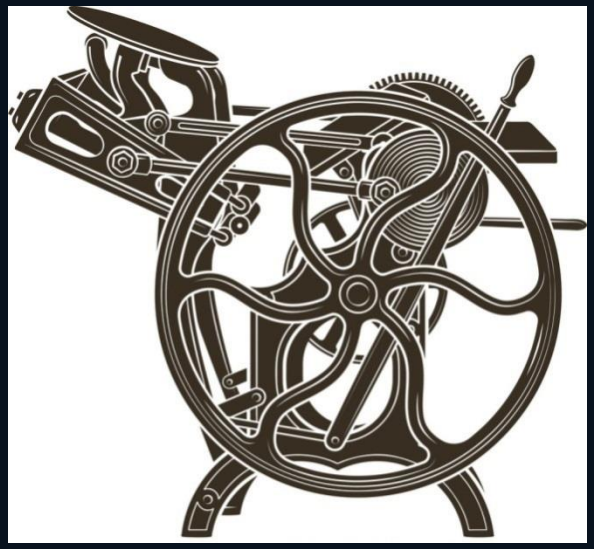
- 2022年までにデジタルは印刷産業全体のうち、価額で19.1%、売上高で4.3%に達するだろう。
- 印刷産業の中で最も成長率の高い区分である。
- オンデマンド印刷市場は14%成長すると予測される。
- 3Dプリンター市場は2021年までに7900万ドルを超え、2016年から2022年の年平均成長率は28.5%になると見込まれる。

紙＆インク

- 世界で最も成長率の高い紙市場で売上高は34億米ドル。
- 150万人に直接雇用を提供し40万の直接雇用を創出。
- 印刷用インク市場の規模は4億米ドル、成長率は15%。



印刷機械



- 売り上げと輸出で2桁の成長。
- アジア及びアフリカ市場がインドの印刷機械メーカーに十分な成長余地を提供。
- 過去5年の健全な成長率は前年比で少なくとも20%。

問題点と課題ー印刷産業

- インドは物品サービス税（GST）を導入したためか経済活性化に失敗。
- 政府によるGSTの推進、キャッシュレス取引、ペーパーレスオフィス、体系化された産業構造により、組織化されていない部門の成長が低下。

- デジタル／電子媒体への変換で従来の印刷機から広告収益が吸い上げられた。
- インドの印刷産業は高度に細分化されている。
- 印刷所のおよそ77%は家族経営である。
- 大型の印刷機の大半は大都市でしか見られない。

- 新聞及び雑誌は大型印刷機でのみ印刷される。
- インドは一人当たりの紙の消費が世界でも最下位の方である。
- 民間資本と銀行からの融資に制約がある。
- 輸入税、信用規制、輸入許可

- インド国民のほとんどが地方で暮らしており識字率が低い。
- インターネットショッピングが急増。
- 環境問題／廃棄物処理
- 原料費の上昇及び価格変動
- 高価な機械及び予備部品の入手不能

- 技術／資格を持った人材が非常に少ない。
- 教育機関数が少ない。
- アンチダンピング及びその関連税の賦課
- 急速な技術変化
- 世界経済の失速
- 個人消費の減少

- 顧客の嗜好の変化
- 世界市場の統合
- 産業規定の厳格化
- 改革のない従来型のビジネス手法

many
Thanks!